

令和元年度（2019年度）第2回 社会教育委員の会議 会議録

1 日 時 令和2年（2020年）1月28日（火）14:30～16:30

2 場 所 函館市役所本庁舎 8階第2会議室

3 内 容

(1) 調査研究

演題 「社会教育の動向について」

担当 北海道教育庁渡島教育局教育支援課

社会教育指導班 風間 直樹

(2) 各委員による活動事例発表および意見交換

4 出席委員 13名（滝澤委員，長谷川委員，外崎委員，瀬戸委員，市田委員，池田委員，石崎委員，神田委員，吉川委員，佐々木委員，川口委員，板東委員，佐藤委員）

5 欠席委員 2名（佐竹委員，木村委員）

6 事務局出席者 3名（神生涯学習文化課長，円山生涯学習文化課主査，葛西生涯学習文化課主事）

7 発言要旨

滝澤委員長

それでは定刻になりましたので，只今から令和元年度（2019年度）第2回社会教育委員の会議を開会いたします。本日は何かとご多用のところご参集いただきまして誠にありがとうございます。

委員長の滝澤です。どうぞよろしくお願ひいたします。

前半は講師の先生による講演，後半は各委員のみなさま方の日頃の活動事例発表と意見交換という2つの柱の構成で進めてまいります。

本日の会議は午後4時25分くらいまでを予定しております。

それでは委員の出席状況について事務局から報告願ひます。

円山生涯学習文化課主査

委員の出席状況につきましては委員15名中13名の委員の出席をいただいております。函館市社会教育委員の会議規則第5条第1項の規定に定める過半数に達しておりますことから，会議が成立しておりますことをご報告いたします。

滝澤委員長

つづきまして資料の確認をさせていただきます。

事務局お願ひいたします。

円山生涯学習文化課主査

本日の資料の確認をさせていただきます。

円山生涯学
習文化課主
査

次第および社会教育委員の会議講演会（演題・講師名・講師プロフィールが記載された紙）につきましては事前に送付させていただいております。

次に、本日机上配付した資料についてですが、委員名簿・座席表・講演資料のほかに、後半の発表で使う資料でお預かりした委員持参資料

石崎委員

女性防災講座，第49回はこだて・女性大会，
令和元年度各種審議会・委員会

佐藤委員

社会教育活動実践報告 となっております。

配付資料が不足している方がありましたらお知らせください。

滝澤委員長

それでは、会議に入らせていただきます。

私たちは3月10日で2年間の社会教育委員としての任期を終了いたしますが、今後も社会教育に携わっているみなさまの活動は続いてまいります。現在の社会教育を取り巻く状況を考えますと、函館市も全国的な傾向と同じように人口減少や地域社会のつながりの希薄化など急激に変化しており、このような中で学びという一つのキーワードがますます人とのつながりや連帯感・絆を醸成する社会教育の必要性を深めていくと思えます。

昨年度は、私たち社会教育委員の調査・研究の一環として学校を核とする地域づくりを担うコミュニティ・スクールについてお話を伺ったところではありますが、今年度は北海道教育庁渡島教育局教育支援課 社会教育指導班主査の風間 直樹様を講師にお迎えし、社会教育に関する国や北海道の動向および最新の知見についてお話をいただきたいと思えます。

本講演は今後、私たちが社会教育委員を離れたあとも社会教育的な視点を活かして活動を実践していただくための参考になると思えますので、委員のみなさまにはこの後に予定されております活動事例発表のなかで今後の抱負も合わせてお話をいただければと思えます。

それでは風間先生、よろしく願いいたします。

講師

(講演)

風間主査

滝澤委員長

風間先生、ありがとうございました。

本日いただきました資料につきましてはお持ち帰りいただき、何かの機会にいろいろ調べたり、お互いにお話しをしたりする際に活用していただければと思えますのでよろしく願いいたします。

滝澤委員長

最後にもう一度風間先生に拍手をお願いいたします。
どうもありがとうございました。

滝澤委員長

それでは調査研究（２）各委員による活動事例発表および意見交換に入らせていただきます。

先ほど風間先生のお話にもありましたように、本日はご縁があつてこうして一同に会してしているせっかくの機会ですので、つなげる・つながるといふところから、それぞれの所属団体あるいは個人的に行っている社会教育活動または社会教育活動以外でも所属している団体で日頃行っている活動等について、お一人３分程度の発表をしていただき、その後、意見交換に移りたいと思います。

お互いの活動を知ることでご自身の社会教育活動に活かしていただいたり、関係をつないでいただくことにより社会教育全体が推進されるものと思っておりますのでよろしくをお願いいたします。

最初の発表者ですが、私からお話させていただき、その後は長谷川委員から池田委員まで、池田委員まで発表が終わりましたら石崎委員から佐藤委員まで、座席の順をお願いいたします。

発表者

私、滝澤です。

滝澤委員長

みなさまご存知のとおり中学校長会の推薦でまいっております。

函館市立北中学校の校長をしております。

中学校長会とは、それぞれの校長が一同に会して函館市の子どもを育てるといふ観点から、いろいろな情報を交換したり連携をとったりしている団体で、学校とはそれぞれの地域・校区において各校長が学校の責任者として学校を経営し、子どもたちの教育を担っているところです。

風間先生のお話にもありましたが学校は昨今、社会が大きく変化する中で課題が非常に多くなっております。

学力向上・いじめ不登校の問題、それからネットトラブルの問題、性教育の問題等、多種多様な課題を抱えているのですが、今はコミュニティ・スクールが中学校長会における大きな柱となっております。

先ほどのような課題は学校だけではとても解決できるものではありません。やはり家庭と地域、みなさま方のような社会教育を担っている方々との連携の中で行っていくことが必要です。

この辺については長谷川委員や神田委員等は実際にいろいろ活動されていますので、本日お話をしていただけるとと思います。

中学校的には多分、みなさんも日頃いろいろなところでお聞きになっているとは思いますが働き方改革が進んでいます。

中学校では働き方改革の一番のメインは部活動です。

部活動というのは子どもたちのひとつ大きな成長の柱です。楽しみもありますし、学級とかの単位以外の部分における子どもたちの成長の場です。しかし一方で子どもの数が減り、学校の数が減り教員の数が減り、教員が抱える仕事量が多くなる中で、中学校では部活動というものをど

発表者
滝澤委員長

のように維持していくかということが非常に大きな課題となっているのです。過労死の80%が中学校で起きていると言われている部分でもあります。

もちろん部活動は大事だし、やりたい子どもが目の前にいれば先生は一生懸命頑張るのですが、土曜日も日曜日もなく自分の家の子どもを家に残して、学校の子どもたちの部活動の練習試合に行くというようなことがあります。このことについては他の教育と同じように社会の中で地域のスポーツを担っていただける方とうまく連携をしていくことが必要とされています。

本当に学校の中だけで、あるいは教師だけで何かを解決するということはとても難しい時代です。

校長会といたしましては、地域と連携を深めながら活動してまいりたいと考えておりますので、みなさまには今後もしろいろとお世話になることもあると思います。

どうぞよろしくお願いいたします。。

滝澤委員長

それでは長谷川委員お願いします。

発表者
長谷川委員

函館市の小学校長会推薦の日吉ヶ丘小学校長の長谷川と申します。

本日は風間先生から社会教育に関するたくさんのお話をお聞きしました。どこから何を話したら良いのか、一つをとっても一日かかる話です。

そういうことになっているのが今の学校教育です。私の学校でもまさしくその通りです。

風間先生の不易と流行の話の時にまさにお話されている通りだなと思いました。流行で言えばプログラミングだとかコミュニティ・スクールだとか、この2～3年の間に一気にやるが増えてきております。

一方、日々授業があり、子どもたちにどうかけ算を教えるか、どう漢字の書き順を教えるかということなどに関して、先生方の技能・スキルを高めなければならないという問題もあります。我々も日々の学業と流行のどちらが本分なんだというくらいのことになっております。

学校の中というのは、自分の見識を深めて子どもたちにどうやって勉強を教えていく技能を高めるかという授業研究が一番の本分です。しかし本校は今年、私から提案して授業研究は当たり前なので、それは一人一人におまかせして、今年は流行の方にシフトを変えて皆でプログラミングを勉強しましょうということにしました。

プログラミングは来年からやらなければならないのですが、プログラミングとは何ですか、と聞かれて答えられない先生も実際に1人か2人いらっしゃいます。そこで今年、未来大学の先生やいろいろ研究している方に学校に来ていただいてお話を聞きながら、実際に自分でパソコンを動かして勉強する機会を4～5回設けました。先生方もプログラミングを大学の時に勉強したことはありませんから、一から勉強のし直しです。このように専門外のことを学校の中で毎日取り組んでいるというの

発表者
長谷川委員

が今の学校の現状です。

もう一つはコミュニティ・スクールです。

本校でも、学校は地域に何をして欲しいのかについて熟議をしています。前回10月に話し合った時には、授業を助けてもらいたいという意見が出ました。先生方の仕事は多岐に渡っているので週に1時間でも2時間でも授業を助けていただければ質の高い教育に繋がっていきます。そういうことを地域や保護者の方々に助けていただきたいということになり、実際に何をしていただけるのかということのを洗い出し、もう動きだしています。

先日、午前8時前に教室で小学校4年生が漁師さんと電話をしてる様子を見かけました。漁師さんは朝が早く8時過ぎでは都合が悪いということで、8時前に小学生が学校に来て漁師さんからイカの話等について教えてもらっていました。イカの問題や海の問題等は漁師の方からお話を聞いた方が良いでしょうし、そういった方をどんどん探していきたいと思っております。

ここにおられる社会教育委員のみなさまの中には、人のつながりをたくさんお持ちでいらっしゃる方もおられると思います。それぞれの校区の中で学校等と連携し協力していただければと思っております。

本当にお話したいことはたくさんあるのですが、今お話したことは2つになります。以上です。

滝澤委員長

それでは外崎委員お願いします。

発表者
外崎委員

北海道教育大学函館校教授の外崎と申します。

地域福祉、福祉教育、生涯学習といったところを主に研究しています。

今日は普段、私のゼミが地域に対してどのような活動をしているのかということをお話します。

私の専門は地域福祉であることから、まずゼミで掲げていることが2つあります。

1つ目は地域での学習機会を確保し提供していくということです。

2つ目はその学習機会を通じて学習者の生活の変容をどう図って行くかということです。

この2つに基き、学生がゼミ活動を通じてどのようなことを行っているのかと申しますと、学生が設定したテーマについて理解の促進が図れるような教材を作成してそれを地域の中に持って行き、一般市民の人に理解が深まるように学習の場・学習の機会を提供していくということを行っております。

学生の活動を通して、示されたテーマに基き自分が今日から今からどのような行動をすれば地域課題の解決につながるのかということを実際の行動を通じて学習者に学んでいただきます。

これまで取り組んだテーマとして主立ったものを2つ上げます。

テーマの1つ目は運転マナーの向上です。

発表者
外崎委員

近年、あおり運転が問題となりました。

私は函館に来て9年目になりますが、あおってくる車もあり安心して運転できないという状況が多いです。

そこで運転マナーの向上のための啓発動画を作成し、作成した動画を一般市民に視聴していただきました。

どのようにすれば安心・安全な交通環境が実現するのか、動画を視聴したみなさんがどのような運転マナーをすれば安心・安全な環境を作り出せるのか、ということを作った動画の中で示し、それを実行してもらうことで函館市の安心・安全な交通環境の実現を目指しました。

テーマの2つ目は環境問題です。

動画の中で普段から環境を破壊してしまうような行動をとってしまうとどのような現状になるのかを示した上で、普段自分のとれる小さな行動から環境被害を防ぐことができるということを示し、一般市民に今日から今からできる環境のための行動、生活行動を促しました。

設定したテーマに興味のある人を集めて行うということではなく（そもそも興味のある人はそういう生活行動を取っていますので）、本当にそういう問題に初めて触れる、あるいは意識していなかったという方を対象に行いたいということを考えました。そこで、不特定多数の方が集まるベイエリアにあるスターバックスコーヒーにスクリーンと動画を持ち込み、コーヒーを飲んでいる方に対してその動画を示していくということをしました。

今年度は蔦谷書店の2階でスクリーンに動画を写して、たまたま来店していた方に足を止めていただいて地域課題を実感していただくなど、一般市民の理解促進・啓発を図りました。

アンケートを取りますとコーヒーを飲みながら生活課題や地域課題について考える機会はとても貴重だったという声も聞きましたので、今後もそのような活動をゼミとして続けて行ければと思っております。

以上です。

滝澤委員長

それでは瀬戸委員お願いします。

発表者
瀬戸委員

函館市文化団体協議会からまいりました瀬戸と申します。

普段は旧姓の青山でタップダンスを教えております。

函館ミュージカル劇場を35年くらい行っております。

函館ミュージカル劇場は、函館市民や近郊の方々を大人から子どもまで公募しまして、大体2年～3年、5年に1回くらいの頻度で上演しております。

前回の当委員会の時に縄文遺跡のお話が出て、それぞれみんなで世界遺産登録に向けて何かできることはないかというお話になりましたが、実は6年前、私は2時間くらいの中空土偶のミュージカルの舞台を作り市民会館で上演いたしまして、大変ご好評をいただきました。

こちらにビデオがございます。とても楽しく、そして心にしみるミュ

発表者
瀬戸委員

ージカルでございますので、ご希望がありましたらお貸しいたします。
ぜひ観ていただければと思います。

著作権は全部ミュージカル劇場にありますので、みんなで楽しく歌って踊っていただければと思っております。よろしくお願いいたします。

滝澤委員長

それでは市田委員お願いします。

発表者
市田委員

函館市スポーツ協会から来ました市田と申します。

10年以上前に教員を退職いたしました。

この10年で教育が大きく変わりました。

今、池上学園の時間講師をしているのですが、どんどん生徒が入ってきます。不登校の生徒です。1年生から3年生まで100名くらいおります。先生方を観て本当に大変だな、体こわさなければよいなと思って見ております。

さて、函館市スポーツ協会は風間先生のお話にもありましており、去年に体育協会からスポーツ協会になりました。国の機構改革によるものです。会長は商工会議所の副会長が宛て職となっており、現在は函館空港ビルデング(株)の水島良治氏です。

これまでのスポーツ協会は運営資金の100%が函館市からの補助金でした。しかしこれではいけないということで、役員に分担金だとか競技団体から会費収入を得たりとか、いろいろな事業に取り組んだりしながら37団体の競技団体が一致結束して努力をしているところです。

事業としては指導者養成があるほか、普及の面では親子のスポーツ大会があります。この大会は3歳から小学生くらいまで4種目にわたる競技を体験いただき、少しでもスポーツを楽しんでもらおうという取り組みです。また先日、市民フェスティバルでつなひき大会を行いました。そういうことを通して市民に少しでもスポーツに対する理解を得ていただけるような活動をしています。

また、函館出身のアスリート（パラリンピックラクビーの池崎選手、パラリンピック陸上の辻選手、日本新記録を陸上で出した城山選手、110ハードル金井選手、今回世界選手権の団体のメンバーに選ばれました卓球の佐藤瞳選手等）が活躍しておりますが、スポーツ協会も少しでも選手の力になれるようにいろいろな形で援助をしております。

しかし今、スポーツ協会はいろいろな課題があり悩みを抱えております。

第1の課題は少子化の問題です。どんどん競技人口が減っております。私はバトミントンの競技を行っております。

先日、小学生大会が開催されておりましたので、そこに私も行って関係者に競技人口が増えているかと聞いてみますと、世界で勝利している陸上やバトミントンは競技人口が増えているということが分かりました。これは各競技団体が頑張らなければならないということで今頑張っているところです。

発表者
市田委員

もうひとつの課題は協会に携わる人が少なくなっているということです。協会自体が高齢化し後継者がいない状態です。

私の任期はあと1年ですが、これからは定年制等を設けて若い人を発掘していくということでもしなければ、なかなか根付いて行かなくなるのではないかと考えています。

また、函館からの選手流出問題があります。

小学生や中学生のうちから本州に出て行く選手がいます。サッカーでは中学生から高校生まで30人くらい函館から札幌や道外に出て行っております。バスケットも同じようなことが言えます。この選手流出に対する対策をどうするか、我々自身が指導力を高めて函館に残る機会を作っていくかなければならないと思います。やはり本州から特待生で来ませんかと言われると函館から出て行ってしまうということがあります。

函館から輩出したサッカー選手とは一人もおられません。

もう少し残っていただいて、函館市で活躍して欲しいなと考えています。函館市はスポーツ宣言都市でもありますので、我々も協力しながら青少年のスポーツに寄与していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

滝澤委員長

それでは池田委員お願いします。

発表者
池田委員

NPO法人函館市青年サークル協議会の池田と申します。

市田委員のお話の中で車椅子ラグビーの池崎選手の話もでしたが、私は中学校1年生の時に同じクラスでした。池崎・池田で出席番号が目の前で池崎選手は僕の目の前に座っておりました。今も青年センターに顔を見せてくれたりしております。

私は函館市青年センターという社会教育施設のセンター長をさせていただいております。青年センターは青少年の教養の向上・健康の増進・情操の純化ということを目的に建てられた施設で、その目的を達成するために事業をいろいろと実施しております。

事業の大きなところは貸館事業です。

体育館・会議室・調理実習室・音楽室視聴覚室といったいろいろなジャンルの団体が活動できる部屋が揃っており、そういうお部屋を貸出しする仕事しております。

ただ貸出しするだけではなく、利用者親睦会を年1回開催して利用者の意見を聞いたり利用者とのコミュニケーションを密にして利用者の生の声を聞いたり、それをサービスに反映させるなど、よりよい運営ができるように日々努めております。

次に、我々の方で企画して先生をお呼びして実施している教養講座がございます。ヨガ・体幹トレーニングと言った運動系、イタリアン・ラーメン等を作る料理系、陶芸教室等の芸術系、子ども向けの自由研究の講座も実施しております。

平成30年度の実績では22種類の講座を計198回開催しております。

発表者
池田委員

す。これは全て教育委員会が行っているまなびっとの対象講座となっていて、まなびっと広場に掲載することで市民の方に知っていただくようにしております。

その他の事業としてはサークル活動の発表やサークル同士が交流するようなイベント等の実施です。

青年センターの話からは離れるのですが、昨年10月、神課長と第59回北海道社会教育研究大会（十勝大会）兼全国社会教育委員連合北海道ブロック大会の開催に参加してまいりましたので、簡単にご報告いたします。

記念講演があり、講師はプラチナ構想ネットワーク会長 元東大総長（株）三菱総合研究所理事長 小宮山 宏氏で「誰もが輝くプラチナ社会～人生100年時代の地域づくりと教育～」という演題でお話をしてくださいました。

プラチナ社会とは、地球が持続し豊かで人の自己実現が可能となる社会のことで、最近よく耳にするSDGsと非常に似通っているところがあると思うのですが、大きく異なるのはプラチナ社会がボランティアではなく、あくまでビジネスや産業化につなげていくということでした。ボランティアだけでは続かない、継続するには産業として行うことが必須であるということでした。具体的なものとしてはNPOによる川の浄化や会社を立ち上げて森林管理をしていくというような事例を紹介していただきました。

大変参考になるお話を聞けたと思っております。

貴重な時間をいただきましてありがとうございます。

以上です。

滝澤委員長

それでは石崎委員お願いします。

発表者
石崎委員

函館市女性会議の副会長をさせていただいております石崎美奈子と申します。今年度の活動報告をさせていただきます。

お手元に資料3枚を配付しています。

- ・女性防災講座
- ・第49回はこだて・女性大会
- ・令和元年度 各種審議会・委員会

1枚目の資料をご覧ください。

防災には女性の視点も大事ではないかということで全4回の女性防災講座を実施することになりました。

日本は地震大国です。最近では台風被害もありました。避難所も開設されております。避難所運営には様々な問題が生じます。最も重要なのはトイレの問題ではないかと思えます。

そこで1番目に実施した講座では「災害時に知っておきたいトイレの

備え」という演題でNPO法人日本トイレ研究所の代表理事である加藤篤氏にお話をさせていただきました。

2番目に実施した講座では「やらなければが やってみたいに変わる」という演題でアウトドア防災ガイドのあんど う りす氏にお話をさせていただきました。あんど う氏は古武道と申しますか、力をあまり使わないで人を介助できる技術を持っていらして、そういう所も為になりました。

3番目に実施した講座では「地域のやさしさを引き出す防災研修」という演題で神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究家の教授である吉田 穂波氏にお話をさせていただきました。

この方のプロフィールは裏面に掲載してございます。子どもが5人いらして初めてのお子さんを外国で出産され、その時に自分から助けて下さいと言えることが大事、誰かが助けてくれるのを待つのではなく自分からこういうことで困っていますと言えることが大事である、ということをお話いただき、そのことがとても印象に残っております。

4番目に実施した講座は「HUG（避難所運営ゲーム）」というワークショップでした。講師の先生は3番目の講座と同じ吉田 穂波氏です。災害が起きて中央病院に避難所が設置されたという想定の中でワークショップが進んで行きました。

病院には脚の不自由な方とか痴呆の方とかいろいろな方がおります。

実際に災害が起きた時、病院にいる方たちをどこに避難させれば良いのか、どう対応すれば良いのかなどを考えることができ、とても良いワークショップになったと思います。

これらの4講座は市民協働モデル事業として実施したのですが、あまり市の方は出席されていなかったようです。

事業は今年度で終わりだと思っておりますが、また来年も何らかの形で続けていきたいと思っております。

次に資料の2枚目「第49回はこだて・女性大会」のリーフレットをご覧ください。

「自分の中の虹を知ろう～ジェンダー・LGBT・性の多様性について～」という演題で大まかなアウトラインについては北海道教育大学教育学部函館校准教授の木村 育恵氏に、具体的な内容についてはNPO法人共生社会をつくるセクシャル・マイノリティ支援全国ネットワーク代表理事の原 ミナ汰氏にお話をさせていただきました。

今いろいろ話題になっている人権問題ですので、当講演を女性大会の時に実施した次第です。

次に資料3枚目をご覧ください。

女性会議から市の各種審議会等にたくさん委員を出してございまして、みんなで手分けして参加させていただいております。この会議もその中の一つです。

最後に、今年の女性大会はLGBTについて学びましたが、来年度はみんなの学校という映画の上映会を9月12日に駅の隣のホテルで行う予定となっております。昨年も十字街にあります地域交流まちづくりセ

発表者
石崎委員

ンターの小さなスクリーンで観たのですが、みんなで感動して泣きながら観ておりました。それを9月12日の土曜日に上映をしますので、どうぞみなさんいらして頂きたいと思います。

この映画は、大阪の大空小学校という学校で実際に起きた出来事をたんとんと365日撮影して出来たもので、本当に素晴らしい映画だと思います。

男女共同参画フォーラムに実際に映画に取り上げられている大空小学校の木村校長先生が講演をする予定ですので、そちらもぜひいらしていただければと思います。

以上でございます

滝澤委員長

それでは神田委員お願いします。

発表者
神田委員

函館市PTA連合会の副会長を務めさせていただいております神田と申します。よろしく願いいたします。

函館市立南本通小学校でPTA会長を務めさせて頂いているほか、校長先生からコミュニティ・スクールコーディネーターに任命いただき、地域と学校をつなげる役割を担わせていただいております。

まずは函館市PTA連合会の活動をご説明したいと思います。

大きな活動は4つです。

1つ目は隔年で開催しております「函館市PTA協会研究大会」です。講演会後に保護者の方々が話し合いをする年と、研究発表として各学校が取り組んでいる活動を報告した後に保護者や先生方が話し合いをする年とがあります。

2つ目はPTAの全道大会や北海道研究大会への参加です。

昨年は札幌で開催されました。全道各地から参加した方がいろいろな活動を報告する場にもなっており、私どもはこの大会で学んだことを地元のPTAに持ち帰り、会の活動に役立てております。

3つ目は母親研修会です。

研修会で得たことを自宅に持って帰って子育てに役立てて欲しいという趣旨で行っております。

役員だけではなく、市内の母親のみなさまに集まって頂いて講習を受けていただきます。

その後、ざっくばらんに自分たちの子どもの問題やいろいろな悩みを話し合い、もしくは自分達の疑問をぶつけながら学び合うということをしております。

先ほど風間先生からお話がありましたが、函館市PTA連合会ではネットゲーム等の問題に対し、親のネット3箇条をつくろうかというような話もあり考えているところでございます。

4つ目は交流についてです。

まずは新年恒例会です。保護者・先生方が年に1度集まって交流を深めて繋がりを作り、次の活動に役立てているところです。

交流ということでは、今年も青森市のPTA連合会と青函交流会を実施いたしました。青森市のPTAはどんなことをしてるのか、函館市はどういうことをしているのか、というのをお互いに話し合いながら交流を深めております。これも30年ぐらい続いている長い活動になっております。

先ほど風間先生からもお話が出ておりましたが、南本通小学校のPTA活動といたしまして、やはりコミュニティ・スクールがメインです。

その中でも七夕コンクールや七夕を使った地域との交流をPTAの活動として実施しております。

地域の方と学校や保護者を繋ぐ活動としては、七夕が一番早かったということで、3年ぐらい前からコツコツと活動を積み重ねてきました。今では4町会さんと学校・PTA・保護者が子どもたちを通じて繋がることができています。

子どもたちは単純に七夕祭を楽しんでいる状況ですが、その根底にある目標としては、地域の繋がりを持つことによって子どもたちの安全を確保することと、ひとり親家庭や核家族の場合、孤独を抱えていることもあるかと思いますので、外に出たら地域の隣の奥さんと悩みを相談できるような状況を少しでも作っていける足がかりになれば良いなと思っております。

また、これまでは地域を繋ぐことのみを目標としてきましたが、私は今、社会教育委員の会議に参加させていただいておりますので、みなさまとも繋がりを作り、地域を更に広げて活動できればと、みなさまのお話を聞いて心からそう思いましたのでよろしくお願いいたします。

コミュニティ・スクールにおける私の役目はコーディネーターですが、校長先生の教育目標を補佐する形を基本ベースとしております。

先ほど、滝澤校長先生や長谷川校長先生がお話をされておりましたように、先生方がどんなことを地域にしてもらいたいのかということを確認した上でそれに向かって私たちが動くことができるような状況を作っていくことが理想です。

今、PTAは担い手不足で大変なのですが、なんとかPTAの活動のブラックなイメージからホワイトなイメージに変えたいと思っております。PTA活動が本当はすごく楽しい活動で地域の人たちと触れあうことだったり、子どもたちの成長を共に見ることだったり、先生の活動を助けることだったり、その意義をお母様方に少しでも実感いただければなと心から思っております。

これまで実施している七夕の活動のほかにクリーン作戦等、函館市の行事を活動に利用したいと思っております。

まだまだ道半ばということではいろんな重たい課題が浮き彫りになっておりますが、それをいつかクリアしながら少しずつ進んでいきたいなと思っております。

みなさま方そのときはどうぞよろしくお願いいたします。。

以上でございます。

滝澤委員長

それでは吉川委員，お願いします。

発表者

NHK放送局の吉川と申します。よろしく申し上げます。

吉川委員

実は私，兄が東京で中学校の校長先生をしており，正月等で顔を合わせた時に先生が大変だという話をよく聞いております。

今回も先生方が大変だというお話を委員からお聞きし，つくづく先生方の大変さを感じております。

私も年齢的に第二の人生どう歩いていくかということを考えなければならぬと思っていますのですが，みなさまの話を聞いて，子どもたちにコミットしていく地域活動に自分も目を向けなければならないのではないかと思うきっかけになりました。本当にありがとうございます。

本日，私からはNHKの防災の取り組み，主に地震についてお話させていただきます。年末にNHKスペシャルのシリーズでパラレルレポートという番組がありました。地震に対しての取り組みがなかなか進んでいない，なかなかみなさんに考えて頂けない状況をどうしようかということで，それなら番組の中で架空の状況を作ってそこで地震を実際に起こしたらどうなるかということで，有名な学者の研究を基に自治体の被害を想定し映像をリアルに表現した番組を作りました。非常に評判も大きかったです。

また，報道グループでは最後のニュースが終わると，毎回ほぼ緊急速報等の訓練をしております。私は函館に来て初めてニュースの現場に席を持っておりますが，この間の青森沖の地震で緊急地震速報があった時にはじめて災害時における報道現場のハチの巣をつついたような状況を経験しました。同じ会社ながら改めてこういうところなんだなと実感した次第です。

函館市はご存じの通り津波の浸水地域もありますので，地震に対してどう反応できるかというのは重要なテーマです。

函館市のNHK放送局では昨年FMいるかさんと新協定を締結いたしました。というのは災害時に停電になると災害の情報を伝える最後の手段はラジオになるからです。またFMいるかさんは地元で非常に細かいネットワークをもっていらっしゃるので，NHKが取材した内容をFMいるかさんで流してもらおうという協定を結ばせていただきました。ただ文書を取り交わしただけになるといけないので，魂入れとして今回，FMいるかさんとNHKが共同して番組を作ることになりました。

2月16日の日曜日に放送いたしますので，ぜひお聞きになっていただきたいと思います。これは生放送で投稿も募集いたしますので，できれば番組を聴きつつ投稿もしていただければ一番幸いです。おそらくNHK函館放送局が初めて民放と共同で制作する歴史的な番組になるかと思っておりますので，ぜひよろしく願いいたします。

滝澤委員長

それでは佐々木委員お願いします。

発表者
佐々木委員

北海道新聞函館支社で報道部長をしております佐々木と申します。昨年7月に17年ぶりに函館勤務で戻ってまいりました。今回、初めて社会教育委員の会議に出席させていただいております。私が函館に来て社会教育と関係することは何かと考えてみました。やはりそれは昨年、世界文化遺産への登録を目指していた縄文遺跡群だと思います。昨年の夏の国内推薦の決定等いろいろな取材や報道をしてまいりました。先ほど瀬戸委員も中空土偶のミュージカルを紹介されていましたが、南茅部高校の縄文クラブの生徒による世界遺産登録を目指した取り組みも素晴らしかったです。また、中空土偶かつくのキャラクターをプリントしたTシャツやグッズがあるほか、最近の記事ですと毛糸で中空土偶のぬいぐるみを作ったということで、おもしろいグッズだなと思いました。北海道は千歳市や伊達市との繋がりもありますし、海港の向こう側である青森との青函の繋がりもあります。縄文が函館の新しい歴史の幕開けになるのではないかという可能性を感じております。2020年も縄文遺跡郡が世界遺産に登録されるまでの軌跡を報道していきたいと思っております。

以上です。

滝澤委員長

それでは川口委員、お願いします。

発表者
川口委員

函館市町会連合会の川口と申します。40年近く町会活動に携わっていますが町会活動はまちづくりそのものと考えています。

地域と教育のあり方を若干考えて来ましたので自分の意見を述べたいと思っております。

教育は健全な地域社会と健全な人間を作るという言葉があります。つまり教育の目的は健全なコミュニティづくりをするため、市民の教育の質を高めることではないかと思っております。

昨今、社会情勢は急激に変化しておりますが、社会教育のメニューは定番化し時代の流れを正確に捉えようとすることに柔軟ではないような気がしております。

国は今、憲法改正という大変革が迫ってきております。憲法とは国の基本秩序です。憲法改正するという事は新たな規律ができるということです。秩序が変われば今までの常識が非常識になるということも起きます。その反対もしかりです。しかし国民の多くが憲法を十分理解しているとは思いません。そんな時代の変換期にあって社会教育は新たな使命を帯びてきているのではと思います。改正を支持する安倍総理が教育の目的は志ある国民を育て品格ある国家を作ることだ。そして教育の再興は国家の柱である。私たち国の教育とりわけ義務教育に大胆な構造改革が必要だと呼びかけています。義務教育にも大胆な変化が進められている昨今、社会教育も当然その役割を担わなければならないと思っております。社会教育は社会の中にある様々な問題を正確に解決する力を養うことに

発表者
川口委員

使命があると思います。

こんな時代の中にあり、市民に対し憲法についての勉強会を行うことも社会教育の新たな使命ではないかと思えます。なぜなら憲法改正は国家の基本秩序が変わるということだからです。改正は国民投票に委ねられます。その時にどんな適切な判断を市民が下すか、その役割を社会教育が担わなければならないのではないかと考えます。極端な人口減少など今、市民は新たなまちづくりに参加することが期待されています。市民の憲法と言われる函館市自治協定がその指針を示していると思えます。そんな時代にあって社会教育の充実はあらゆることにも増して期待されるのではないかと考えます。

私個人のつたない考えを述べさせて頂きまして誠に恐縮ですが、この会議が回数を増やして盛大になることをお願いし、私の発言とさせていただきます。

ありがとうございます。

滝澤委員長

それでは板東委員、お願いします。

発表者
板東委員

板東と申します。

私は中学校のPTAや町会の見回り活動のほか、美術館のいちいの会というボランティア団体に所属しています。どの活動でも子どもたちへ声かけや見守りなどにおいて子どもたちと関わっております。

池田小学校事件以来、私の町会では見守り活動として月に1～2回、散歩がてら子ども達の下校に付き添っています。その中で子どもたちは自分のことや自分の家庭のこと、お友達のことを私たちに話してきます。

美術館のいちいの会のボランティアで私は売店部に参加していますが、展示を見終わって出てきた子どもたちに声かけをするなど、コミュニケーションを図っております。

以前に函館市PTA連合会主催の研究大会に参加したところ、講師の先生が言語と脳の間には心があり言語習得は教育ではいとか、言語と音楽は共通性があるから歌って覚えれば子どもたちは簡単に言語を覚えることができる、というようなこととお話しされておりました。それはその通りだなと思いましたが、私は言語を覚えたりするのに文学等も大事だと思っております、もちろんスポーツでもあったりいろいろ分野があると思うのですが、私が関わっているいちいの会の活動の中で美術を見た後の子どもたちと感動した気持ちを共有するための言葉を大切にしていって、私も子どもたちに声かけをして子どもたちからもいっぱい言葉をもらっていきたいと思っております。

私が日々携わっている社会教育とはこういうことではないかと思ひ、お話をさせていただきました。

滝澤委員長

それでは佐藤委員お願いします。

佐藤と申します。

今、空港の自治町会の会長をしている関係で町会のことについて資料にまとめてきました。中身については後ほど時間がありましたらお読みいただければと思います。

私は元小中学校の教員でしたが、30代頃に学校教育に対し考えるところがあり大学時代に取得しておりました社会教育主事という資格を活かして仕事をしてまいりました。

自分の社会教育活動としては、函館にありましたドットジュニアスクールとか学校に野球少年団を作りまして、子どもたちにいろいろと教えてまいりました。私がこの経験を通して大変勉強になったのは、子どもだけでなく地域の人や大人と交流を持てたことです。それはとても意義のある交流でした。いろいろと活動を助けていただきました。

また、人との出会いとしてはよく新聞に出ております合唱団の校長先生と一緒に働いたことがありまして、私自身にとってはとてもプラスの経験でした。このような素晴らしい人がいるのだということを今更のように思います。

前回のオリンピックの時、オリンピック選手を支援するために社会の人たちにお金を集めたり鶴を折ったりしていただいた経験もあり、社会の方々の思いは本当に素晴らしいなと思います。そういう経験があるものですから、地域の人々を大事にしなければならないし地域の人たちと広く繋がって行かなければならないと思っております。

現在、私は空港の近くに住んでいるものですから、7月に開催される空港フェスティバルを盛り上げるためフェスティバルに参加するなどの協力しているところですが、残念ながら私の町会と空港の繋がりはありません。この4月以降に民営化される空港といろいろと接触しながら活動していきたいと思っております。

何と言いましても、先ほど言いましたように社会教育を行ってきたおかげで多くの人たちと広く交流が出来たということが私にとっては財産だったなと思っております。

私は、あと2年は町会長を務める予定です。

人材育成も色々行っていますが、頑張るよという人もたくさん出てきております。しかし本日、町会の在宅委員会が主催する高齢者の集まりがあって行ってまいりましたら、高齢者の一人から、家にいれば一人で何にも話することがないのでテレビに向かって話しかけているのでこのような集まりもあるとすごく楽しいが、残念ながら最近は同じ人しか集まっていないというお声をいただきましたので、こういうことにも対応するなど、幅広く活動して行ければ良いなと思っております。

私も2年間、社会教育委員の会議に参加させていただきましていろいろと勉強させていただきました。

誠にありがとうございます。

滝澤委員長

たくさんのご意見をありがとうございました。

今日は、委員や事務局が互いの取り組みを情報共有し理解する良い機会となったと思います。身近な活動や互いの活動に協力し合うなど、私たち市民が小さなことでもできることから取り組んで行くことが大切です。会議終了時刻も迫っておりますので、本日は意見交換をいたしません。みなさまは各委員の発表を通して様々な活動を知ることができたと思いますので、それぞれが所属する団体や地域に持ち帰って参考にいただければと思います。また、それぞれの団体がお仕事の中でいろいろな視点で活躍なさると共にせっかくのご縁でできた繋がりですので、そういうものを活かして函館のために、あるいは函館の未来の子どもたちのためにみなさんと協力していけたらと思います。

本日はどうもありがとうございました。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

滝澤委員長

事務局から他に何かございますか。

神生涯学習
文化課長

第59回北海道社会教育研究大会兼全国社会教育委員連合北海道ブロック大会が、十勝において10月10日～11日にかけて開催されました。今回は私と、長く本市の社会教育委員を担ってこられました池田委員と2名で出席してまいりました。

前回もお知らせしましたように、来年度の第60回北海道社会教育研究大会は令和2年10月8日（木）～9日（金）の2日間に渡って函館市で開催されます。

開催に向けて渡島社会教育委員連絡協議会内に第60回北海道社会教育研究大会実行委員会を立ち上げ、函館市も参画して内容を協議しているところです。協議結果等の具体的な内容につきましては随時、報告してまいります。また、渡島社会教育委員連絡協議会については持ち回りで役員を決定してきておりまして、函館市は来年度から副会長となる予定でございます。

滝澤委員長

事務局、他に何かございますか。

神生涯学習
文化課長

成人式について、でございます。

函館市における成人の日行事（成人式）については、これまで国民の祝日に関する法律で定められた成人の日、1月の第2月曜日に開催してきました。一方で、成人式の開催日を成人の日の前日の日曜日に変更することにより、特に遠方から帰省して参加する方や平日に仕事を控えている方などにとっては、日程に余裕ができることでより成人式に参加しやすくなることが期待できるという考えがあり、札幌市や近隣では北斗市などは、成人の日の前日となる日曜日に開催しております。当市におきましても成人の日の前日に開催すべきかどうか協議しているところであり、委員のみなさまのご意見を頂戴したいと考えております。

- 滝澤委員長 ただいまの成人式を成人の日の前日に開催するということに対しまして、みなさまのご意見を頂戴したいと思います。
いかがでしょうか。
- 市田委員 賛成です。
良いと思います。
- 滝澤委員長 他に何かございますか。
- 瀬戸委員 そもそも成人の日は15日だったのに変えてしまったのだから、今回も成人式を成人の日の前日に変えても良いと思います。
- 滝澤委員長 それでは成人式を成人の日の前日に開催するということでよろしいでしょうか。参加する人の利便性とか参加数が増加するのであれば、その方が良いのではないかということですが、みなさまよろしいですか。
- (異議なし)
- 滝澤委員長 事務局、他に何かございますか。
- (なし)
- 滝澤委員長 それでは、本日の次第につきましてすべて終了いたしましたので、これで第2回社会教育委員の会議を終了いたします。
みなさまお疲れ様でした。

以上、令和元年度（2019年度）第2回函館市社会教育委員の会議の会議録とする。

委員長 滝澤智子